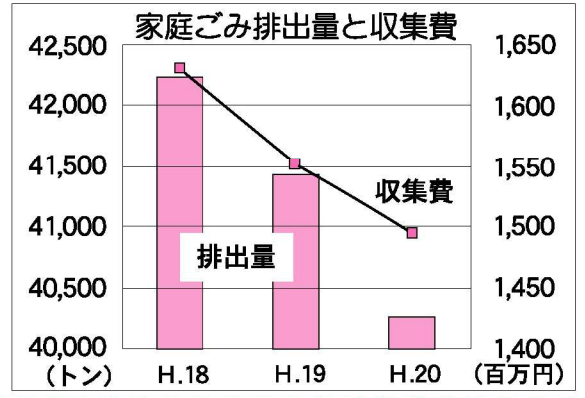


京西 昌哲 議員

近づくゴミ有料化 さらなる経営努力を



【問】「ごみの有料化」が平成22年度から実施される。市民が混乱することなく、新しい制度に移行できるように様々な対策が必要と考えるが、その取り組みについて聞きたい。

【答】9月から、ごみの有料指定袋制導入に至る経過と制度の概要について、説明会を12月の時点で19校区において開催した。

現在の有料シール取り扱いは販売所の登録は180店舗であるが、市民の利便性向上のため、コンビニを含め200店舗以上の確保に努める。

不適正排出ごみへの対応として、一定期間ごみ出しの時間帯に職員によるパトロールを実施するとともに、民間事業者による実施も検討している。

ここが聞きたい 一般質問

【問】の記事は、質問した議員が作成しています。

また、市議会ホームページの「インターネット録画中継」で、定例会で行われた議員の一般質問や総括質問の様子がご覧になれますので、ご利用ください。

市長公約実現のため 具体的なメドと対策は

小川 和夫 議員

【問】市長は選挙において、乳幼児医療費助成制度の拡充、水道料金の10%の値下げ、スクールランチ(※注)から中学校給食への完全移行など、これまでの行政サービスの後退、市民負担増の行政手法ではなく、市民の要求にこたえる公約を打ち出している。

公約を積極的に実現するための具体的なメドと対策を聞きたい。

【答】きしわだ行財政再生プランにより財源不足に目途をつけたところであり、今後は公約の実現に向け、手法、実施時期など総合的に、市民と協働で考え、取り組んでいきたい。



上下水道局の料金窓口にて

【問】説明会未実施の校区については、21年12月中に対応できるように取り組んでいる。

今後行う説明会は、試供袋の配布方法、残っている無料シールと指定袋との交換手続き、指定袋の取り扱い、販売所などについてのより具体的な説明会を町会単位で行っていく。

南海本線高架化 事業の具体化は

鳥居 宏次 議員

【問】平成7年から12年まで取り組んだ南海春木・和泉大宮駅の連立高架化事業では、7千万円を投入し設計したグラウンドデザインや16億円で買収した代替地もある。事業の具体化にどのように取り組むのか聞きたい。

【答】駅周辺整備については、市民と協働で考え、取り組んでいきたい。

【問】成長盛りの中学生の栄養バランスや食育の推進は大切である。中学校給食への完全移行をどのように実施するのか聞きたい。

【答】食育や栄養補完などの観点から、本市の中学生にとってどのような昼食が



高架化が待たれる踏切

【問】また、府や南海電鉄との間で、高架化構想の具体化に向けた課題や検討事項を整理していきたい。

【問】中学校給食の実施は、4年前の市長選挙でも重要な課題であった。

【答】成長盛りの中学生の栄養バランスや食育の推進は大切である。中学校給食への完全移行をどのように実施するのか聞きたい。

【答】食育や栄養補完などの観点から、本市の中学生にとってどのような昼食が

規則正しい生活で 学力の向上を

清水 隆司 議員

【問】全国学力・学習状況調査の結果について、生活習慣や学習環境に関する調査結果も踏まえ、どのような対策を講じているか聞きたい。

【答】課題の大きい書く力や表現する力などは、教育活動全体を通してはくむことが重要であると認識している。また、規則正しい生活習慣は学習意欲を高め、学習習慣定着の土台になると考える。家庭の理解と協力を得ながら、さらなる充実をめざしていく。

【問】府の学力テストをどのように生かしているか聞きたい。

【答】子どもたちの理解の状況を把握し、課題を明らかにして授業を改善するためのツールの活用している。

【問】教育環境への取り組みとして、府芝生化推進事業で2校、これとは別に幼稚園や他の学校でも芝生化されたと聞く。今後の芝生化について聞きたい。

【答】学校園からは、児童が憩い、園児が外遊びを楽しむなど外遊を促す声がある。芝生化により、子どもたちに自然を大切に育てる心が生まれていると認識していると認識している。維持管理などの検証を行い、今後も学校園の意見を聞きながら進めていきたい。



芝生の上は気持ちいい

市長就任の決意と 選挙公約の実現は

中塚 茂春 議員

【問】現下の政治情勢の大きな流れのなか、2期目の当選を果たされた市長の決意と、公約を具体的にどのように実現されるのか聞きたい。

【答】市民の温かいご支援により、さらに4年間、市長に就任させて頂くこととなった。今後とも市民目線に立ち、公約実現に全力で取り組む。

公約実現に向け、政策推進戦略会議において、おのの事業の整理、位置づけ、財源措置など総合的な調整を行い、速やかに事業着手に努めたい。

【問】現政府が、一方的に破棄した子育て応援特別手当を、本市独自に支給することを公約されたが、その支給内容について聞きたい。

【答】この手当は、幼児教育期の子育てを支援するための重要な施策であると考え、本市独自の



子育てを応援します

【問】現政府が、一方的に破棄した子育て応援特別手当を、本市独自に支給することを公約されたが、その支給内容について聞きたい。

【答】この手当は、幼児教育期の子育てを支援するための重要な施策であると考え、本市独自の

支給対象は、平成22年1月1日現在の住民基本台帳で、15年4月2日から18年4月1日生まれの子どもと同居している世帯主である。支給金額は、第一子目から一子につき3万6千円で、対象児童数は約6千人を見込んでいる。